

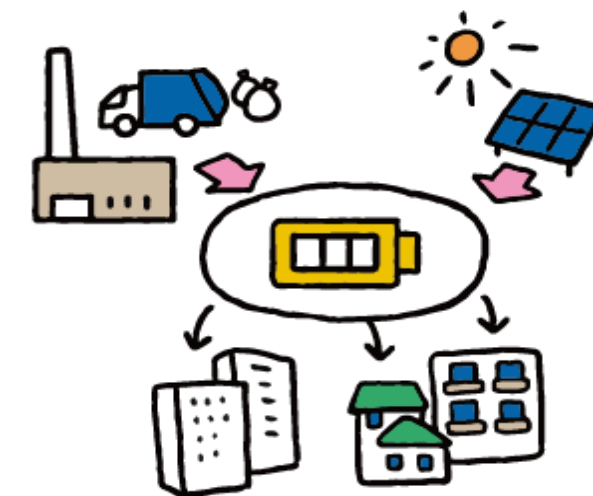
気候区民会議

意見提案への主な対応

01 エネルギー 02 循環型社会 03 みどり 04 交通

01

エネルギー



提案

めざす姿：

杉並区でエネルギーをつくり、区内でエネルギーをまかなっているまち

- 化石燃料を脱却し、エネルギーを地域でつくって地域で使うことで区内経済の活性化につなげる。
- 家庭のCO₂排出量が多いため、一人ひとりが生活で使うエネルギーを見つめ直す仕組みの構築や、まち全体での省エネ・再エネを進める。

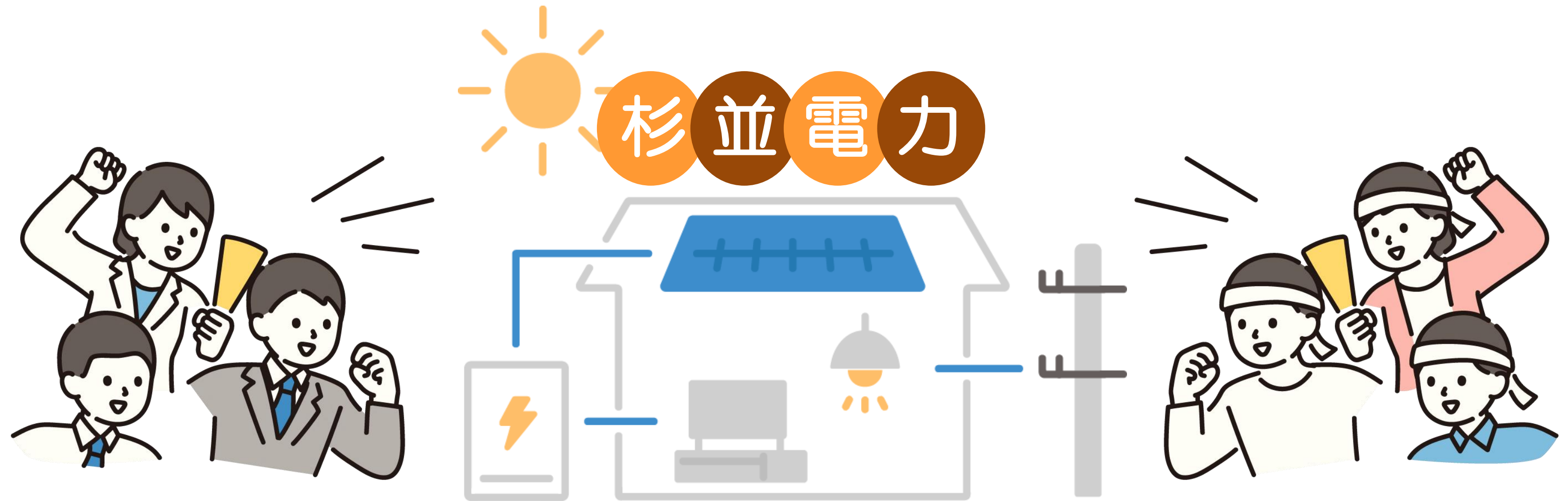


提案を受けての
区の方針

エネルギーの地産地消を目指すことは、持続可能な社会の実現に向けて重要であり、他自治体との連携による再エネ供給の可能性も含め、区内の再エネ流通の一層の拡大を図る。同時に、区民一人ひとりがエネルギー利用の最適化を考え、行動を実践できる環境づくりを行う。

主な取組：提案**05**・**06**・**08**

提 案 05 区民が参加できるような事業体「杉並電力」により、自分たちで コツコツと積み上げて発電し、再エネを地産地消するまちにする



提案への 区の対応

提案の杉並電力は、区民・事業者・区がそれぞれが再エネ電力の地産地消を目指すこととして捉え、太陽光発電設備及び蓄電池等への導入助成や、「建築物再生可能エネルギー利用促進区域制度」の導入等による再エネの普及促進に向けた、さらなる取組を検討していきます。

提 案 06

交流自治体や地方と再エネを起点にした 相互的な協力体制をつくる



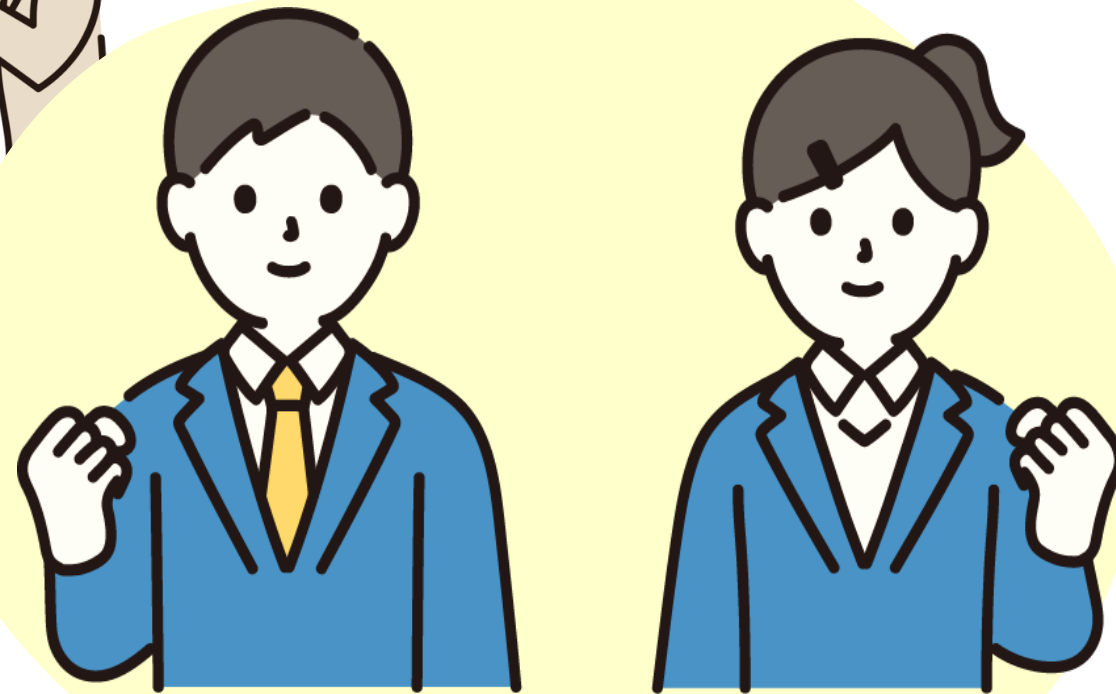
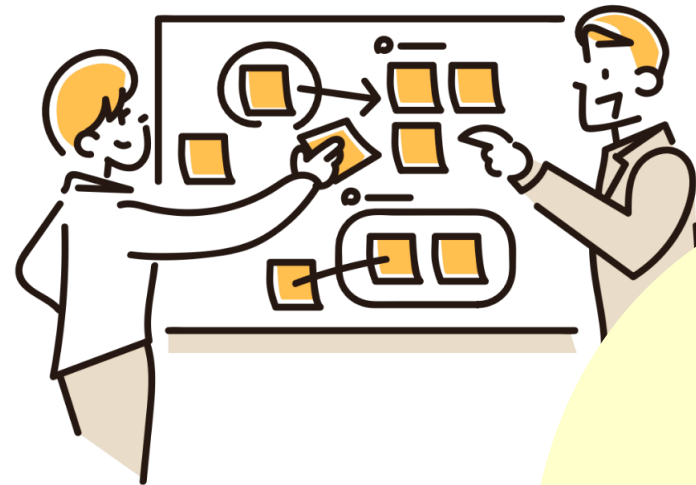
提案への 区の対応

交流自治体等の地方との連携による再エネの区内供給について、連携の可否や事業効果、また連携を契機とした交流機会の創出や拡充等について検討していきます。

提 案 08

区民・事業者・杉並区で気候変動対策の取組を考える場を 設け、積極的に情報を発信する

ワークショップ



YOUTH

冊子の作成



発表会



提案への
区の対応

気候区民会議と同様に、気候変動対策を一人ひとりが考える場として、新たにユース（中高生世代）を対象としたワークショップを実施し、将来世代の意見をまとめ、冊子作成やイベントでの発表等をとおして広く発信していきます。

02

循環型社会

提案

めざす姿：ごみの排出が最も少なく、暮らしに関わる全てのものが杉並区内で完結する循環システムのあるまち



○私たちが使うモノがつくられる過程から変えていくことが大切であり、事業者や行政のチカラが欠かせないため、様々な主体が連携して仕組みを変えていく。



提案を受けての
区の方針

ごみの減量を進めるには区民一人ひとりの意識醸成や行動変容が重要であり、そのため、ごみに関する情報をわかりやすく可視化して情報提供していく。
また、事業者との連携や区民参画による「杉並版循環システム」の構築を目指す。

主な取組：提案**11**・**12**・**13**・**17**

提 案

杉並循環ラボをつくる

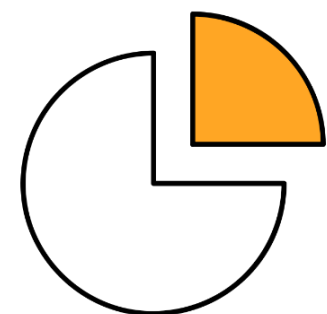
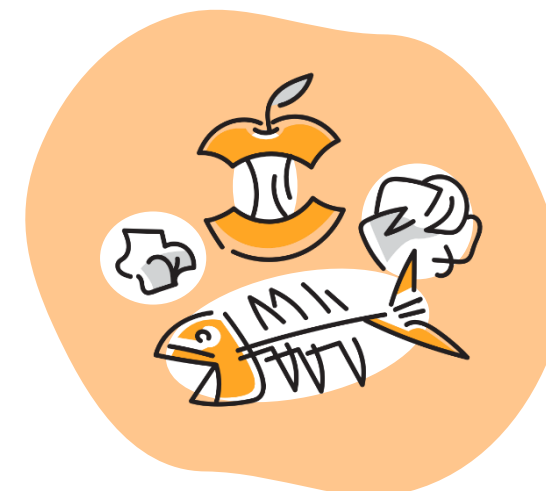
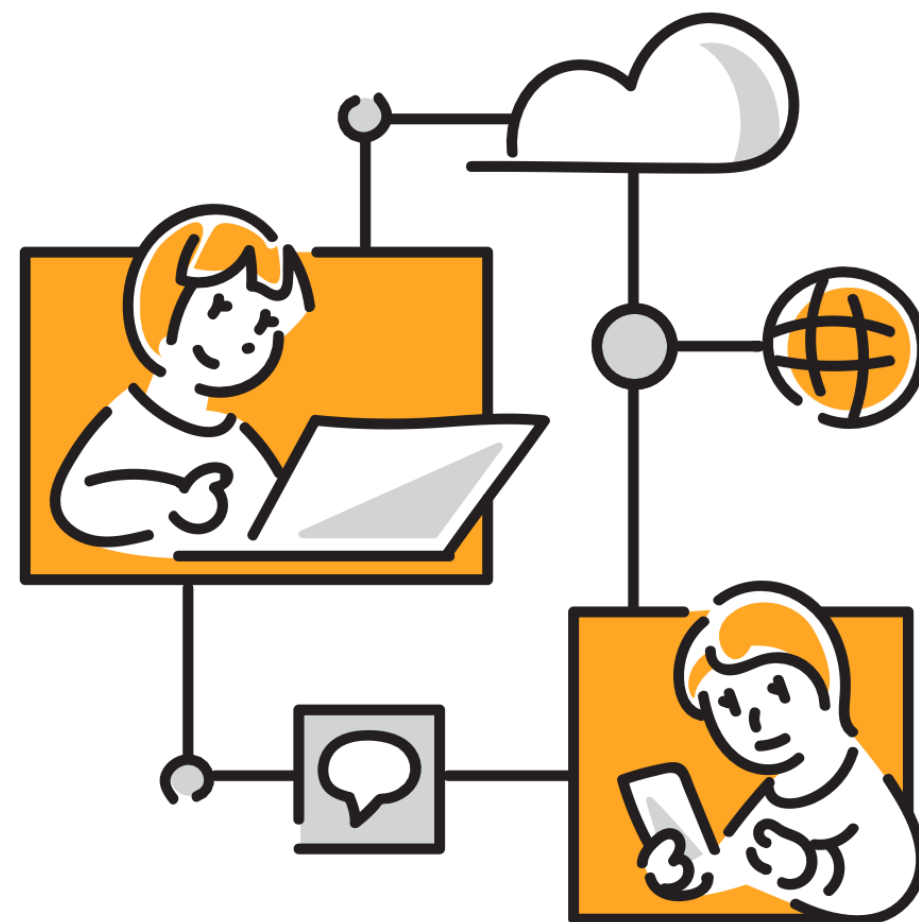
3

一度使ったものをシェア・リペア・アップサイクルできる
拠点を創出し、区民へ普及させる仕組みをつくる



提案への
区の対応

環境活動推進センターにおけるフリーマーケットの実施に加え、民間リサイクル事業者や地域団体等との連携、継続的な区民参画を視野に入れた循環システムの構築について研究します。



提案への 区の対応

ごみ・資源収集量の推移や組成調査でのごみの内訳など、情報の見える化を行い、区ホームページや清掃情報誌「ごみぱっくん」等で広く情報発信することで、ごみ減量に対する意識醸成と行動変容につなげていきます。

03

みどり

提案

めざす姿：

質の高い豊かなみどりを守り、育んでいるまち



○暑さ軽減や、雨水浸透といった役割を果たすみどりを、地域資源として次世代に受け継ぐには、適切な維持管理が重要であり、その大切さを理解する区民を増やして地域で守り・育てていく。



提案を受けての
区の方針

みどりは多様な機能や価値を持ち、グリーンインフラとして必要不可欠であり、杉並の原風景である屋敷林や農地をはじめとした貴重なみどりを共通の財産として将来に引き継ぐため、区民等との協働により、みどりを守り育てる取組を推進していく。

主な取組：提案**19**・**22**・**23**・**24**

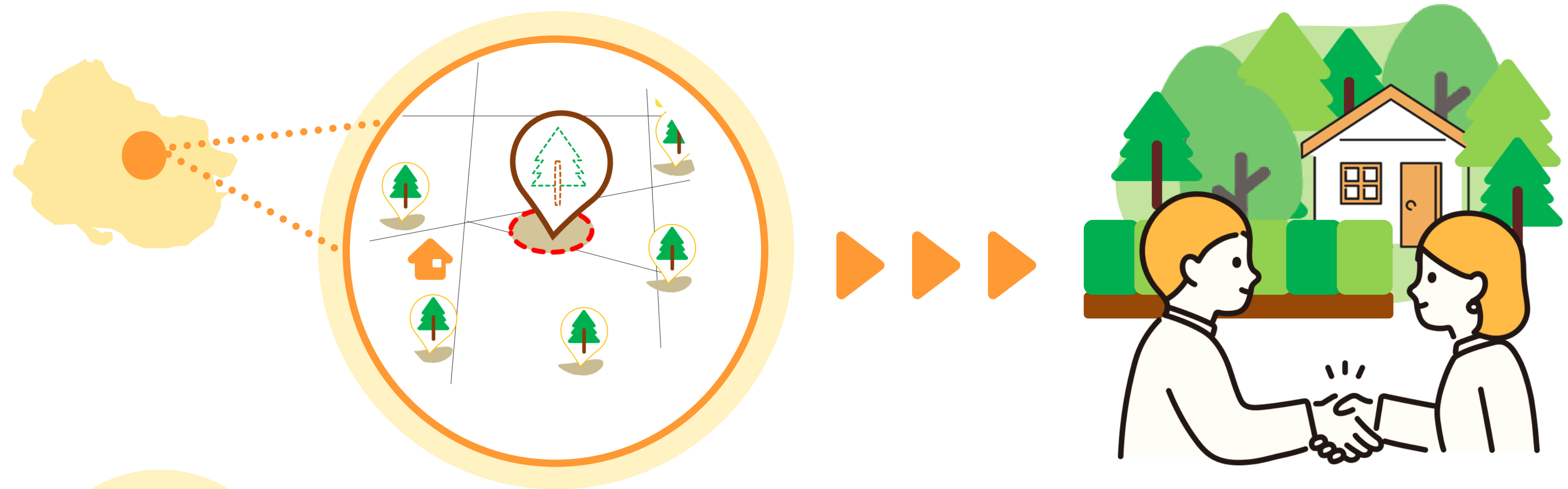
駅周辺や大規模な土地に、杉並の顔となるような 良質なみどりをつくり区民と守り育てる



提案への 区への対応

駅前における再開発や建築行為等の機会を捉え、基準を超える緑化に対しての費用を補助する等のインセンティブの付与や、そのような民間施設におけるみどりを維持管理するボランティア制度の創設を検討します。

歩いて10分森林浴ができる杉並区を実現する

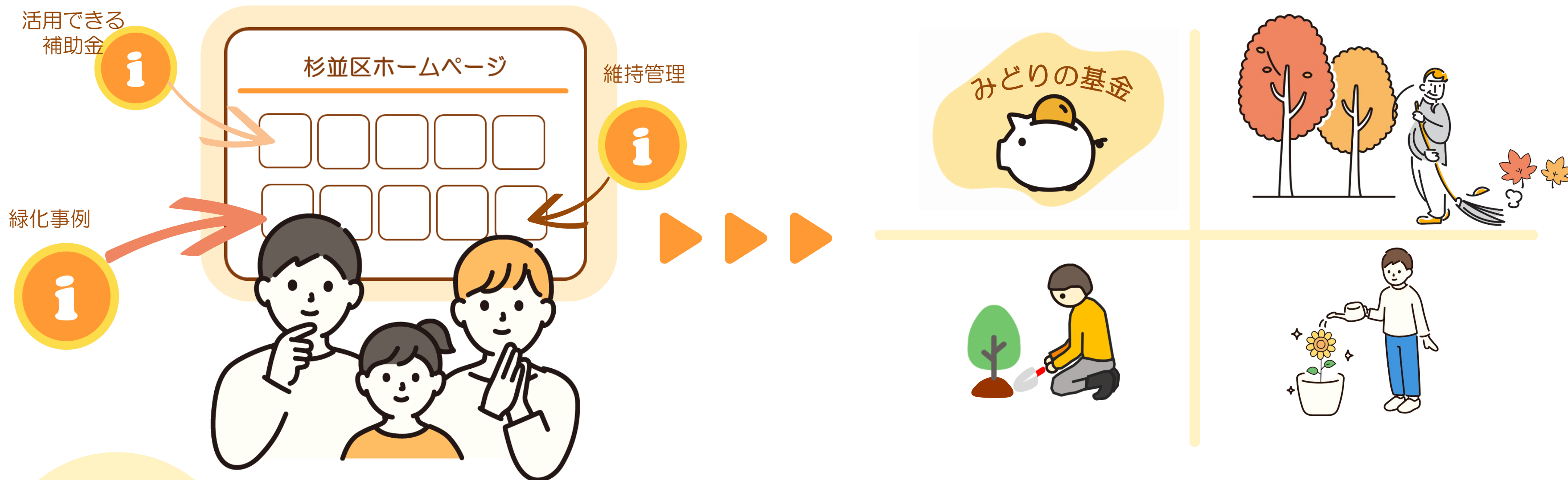


提案への 区の対応

300㎡以上の樹林が、徒歩10分以内（半径500m）にない空白地域を把握し、市民緑地整備への勧奨等を行うことや、300㎡に満たない空き家などに対しても借地や土地購入による樹林保全等について検討・研究します。

提案 23

一人で始められるみどりを増やすサポートを充実させる

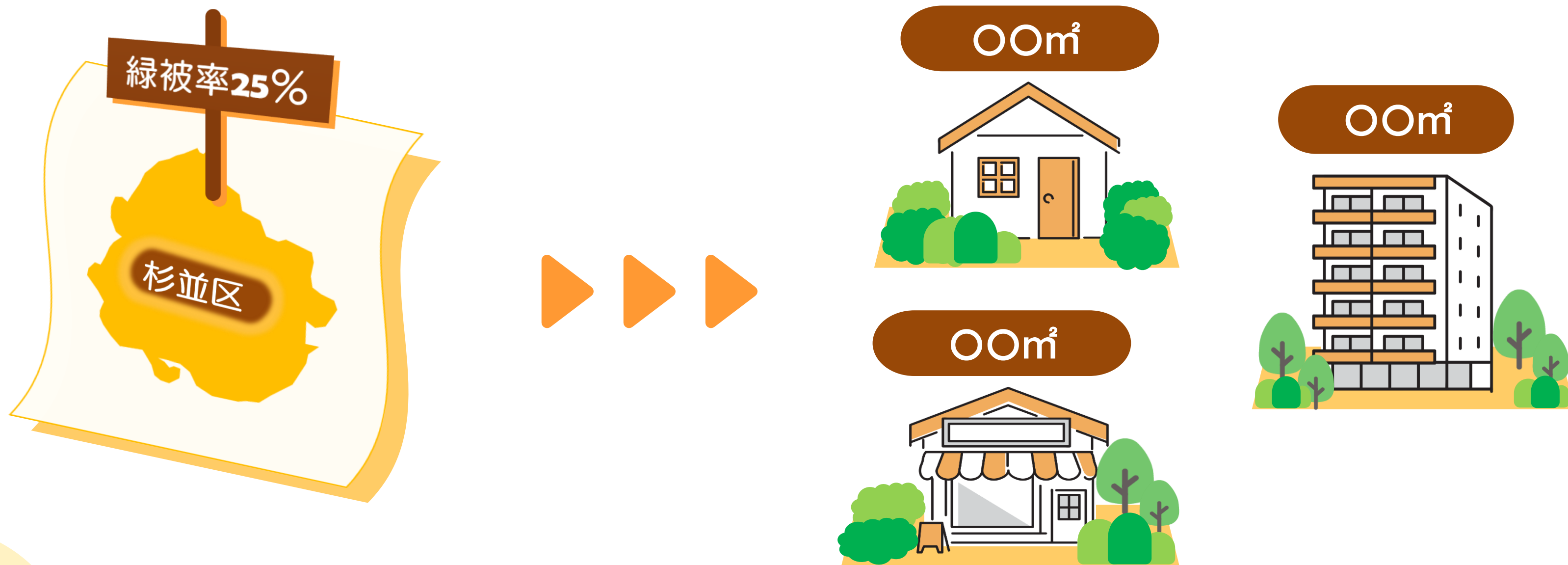


提案への 区の対応

みどりのグリーンインフラとしての機能をはじめ、緑化事例や助成金の紹介、維持管理方法など区民が緑化を実践してみたいとなるような情報を区ホームページ上に集約することで、区民一人ひとりによる緑化活動をサポートします。

提 案 24

「わたしが緑を増やさなきゃ」と 思える新たなグリーン指標をつくる



提案への 区の対応

区全体で緑被率25%を達成するため、建物あたりに必要な緑地面積を提示し、区民一人ひとりが自分事として緑化に取り組むことを促すとともに、賃貸住宅に居住する人に向けても、緑被率向上に向けた緑化事例をSNS等で発信します。

提案

めざす姿：だれもが環境に優しい手段で移動したくなる、
多様なモビリティが共存できるまち



○二酸化炭素の排出が伴う移動をさらに減らし、自転車や徒歩など排出量が少ない手段に切り替えていく必要があるため、人と環境にやさしい交通システムを築いていくための仕掛けや仕組みを提案する。



提案を受けての
区の方針

杉並区産MaaS「ちかくも」により、環境にやさしい移動の選択肢の拡充や、潜在的な地域の魅力発見につなげ、移動需要の創出と地域の活性化を目指すとともに、公共交通や自転車等をより使いやすく、使いたくなるような情報を発信し、マイカーに過度に依存しないお出かけを提案します。

主な取組：提案**26**・**27**・**28**・**29**・**33**

26

車利用からの転換を推進するため、徒歩や自転車の利用を促進する
ようなアプリを開発し、便利さ・楽しさを伝える

27

自動車を使わないことが杉並を楽しむことにつながるポイント制度を
設ける



提案への 区への対応

杉並区産MaaS「ちかくも」により、歩きたくなる道や健康促進事業、シェアサイクル・駐輪場の空き情報等を表示し、地域の魅力発信やイベント参加の促進を行うことで、移動の選択肢を拡げていきます。
また、ポイント等のインセンティブや、移動データの収集・分析から健康・経済効果、環境負荷等の可視化を検討します。

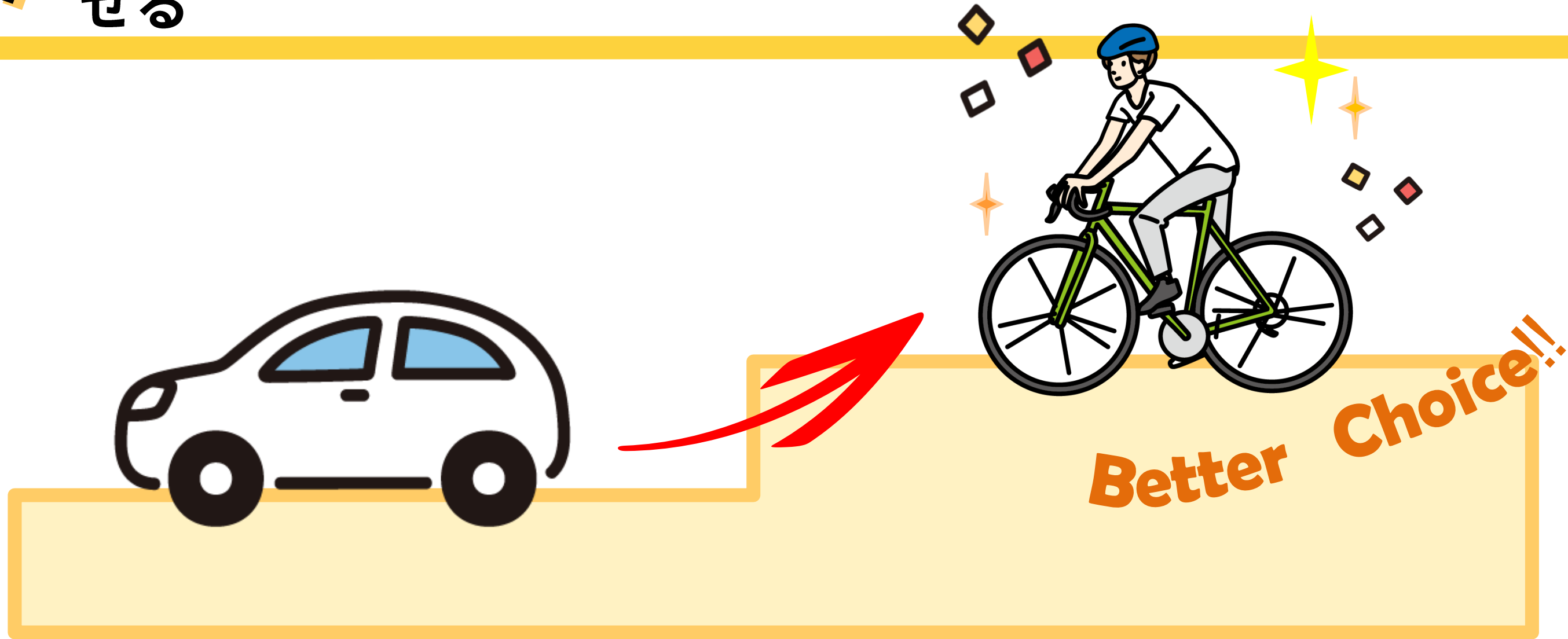
提案

28

車利用から自転車への切り替えを促す事業者の取組にインセンティブをつける

29

物流で使う自動車を減らすために、商用「車」から商用「X」に変化させる



提案への
区への対応

自転車フレンドリープロジェクトやモビリティ・マネジメントの観点から区内事業者への自転車活用の推進や、「エコ通勤優良事業所認証制度」の活用、区職員の出張時シェアサイクル利用制度をPRしていきます。

33 四季折々の緑が楽しめる安全安心な移動空間をつくる



提案への 区の対応

区立公園等への雨庭の設置によるグリーンインフラを意識した環境整備を進めるとともに、杉並区産MaaS「ちかくも」を活用した安全安心なウォーキングやサイクリングモデルコース、休憩スポットとして利用できる区立施設の周知を行います。